

令和7年 宮城県内の熱中症による労働災害発生状況

宮城労働局

県内の事業場において、令和7年発生した休業4日以上の中熱症による労働災害の死傷者数は48人（前年同期比+31人、+282.4%）となり、大幅に増加しました。一方で、死亡者は0人（前年同期比±0人）となりました。

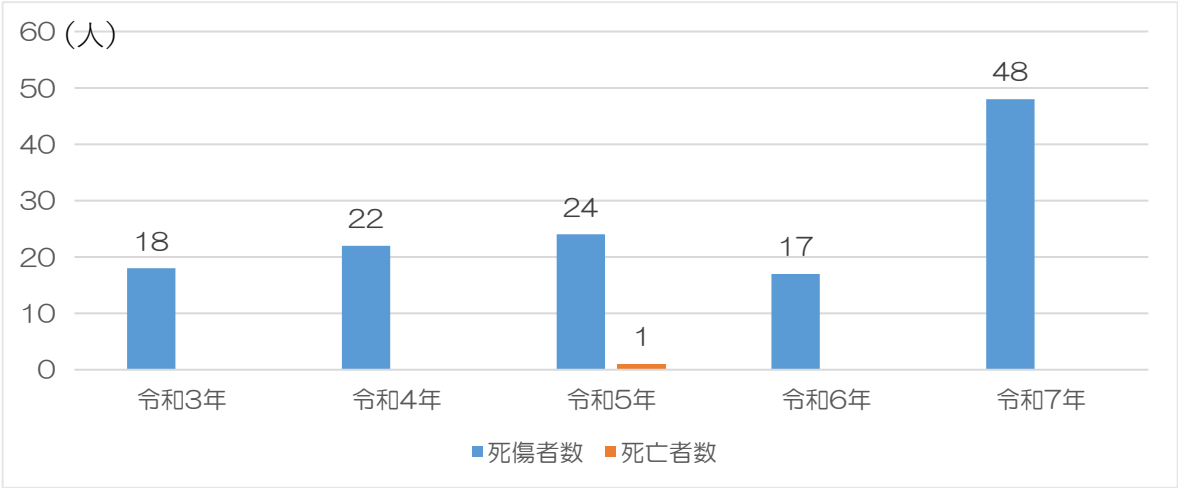
発生月別では、7月（30人、前年同期比+23人）に多く発生し、前年と比べ4.3倍と大幅に増加しました。

業種別では、製造業が12人（前年同期比+12人）で最も多く、建設業が10人（前年同期比+5人）、陸上貨物運送事業7人（前年同期比+6人）、商業7人（前年同期比+4人）の順に多く発生し、製造業での増加が著しい結果となりました。

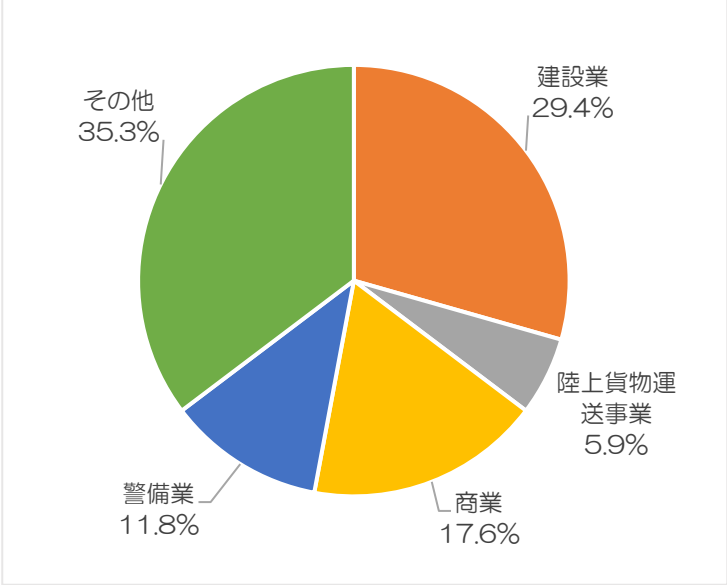
気象庁データから日平均気温の月平均値（仙台（宮城県））を見ると、2025年7月は27.2度で、データがある1927年以降最も高い数値を記録しており、死傷者数の増加の一因となったと推測されます。

令和6年と比べ死傷者数が大幅に増加したものの、死亡者数が0人となったことは、令和7年に、事業者に対し、中熱症のおそれのある作業を行うときには、報告体制の整備、手順の作成等の措置を講じることを義務付ける労働安全衛生規則を改正・施行したことにより、事業場における中熱症の重篤化防止対策が進み、死亡災害の防止が一定程度図られたためと考えられます。

① 熱中症の推移（全業種）

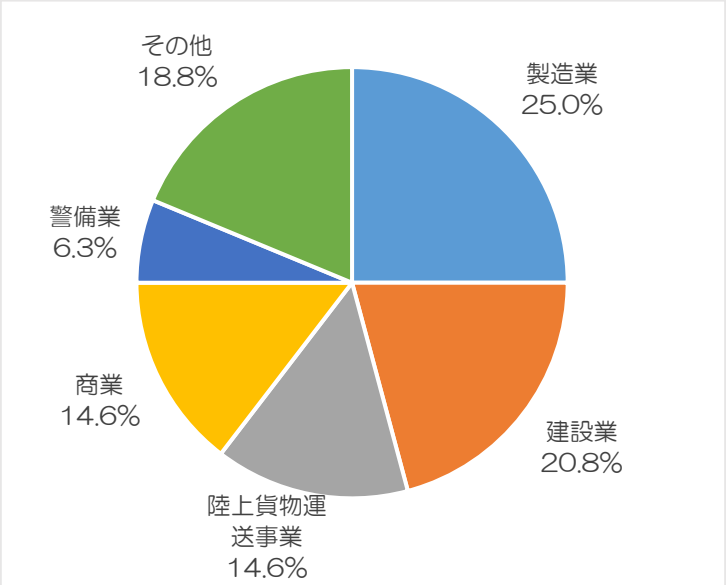


② 業種別内訳（令和6年）



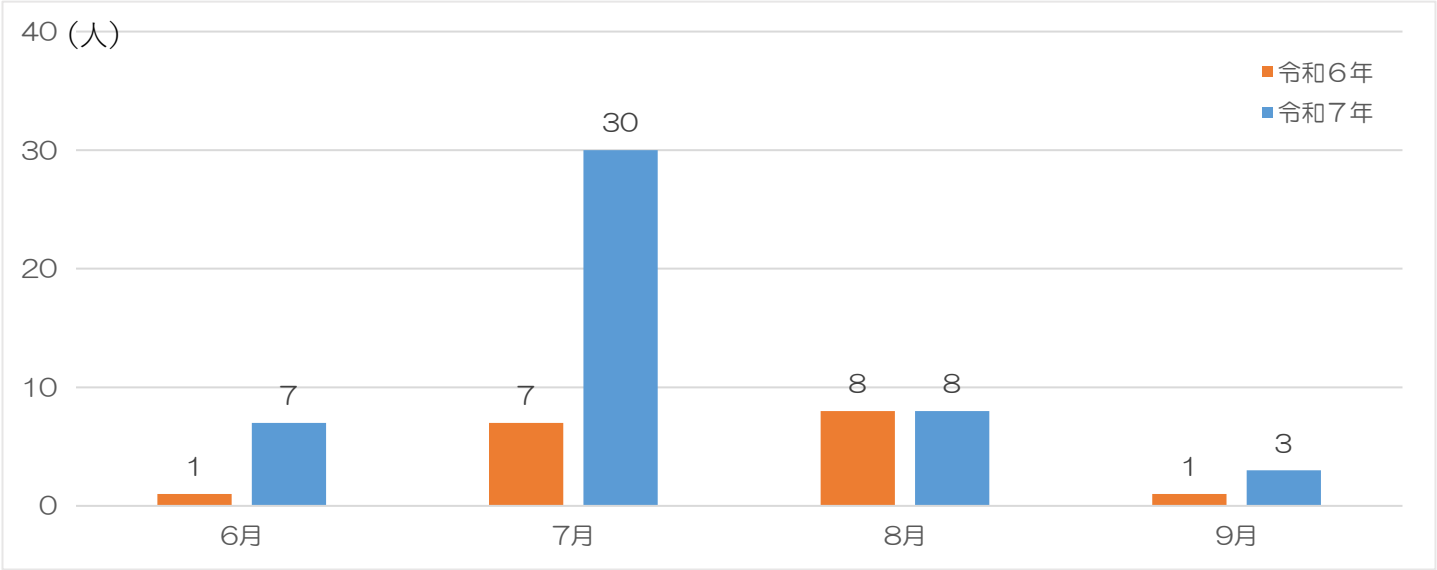
製造業	建設業	陸上貨物運送事業	商業	警備業	その他
0	5	1	3	2	6

（令和7年）

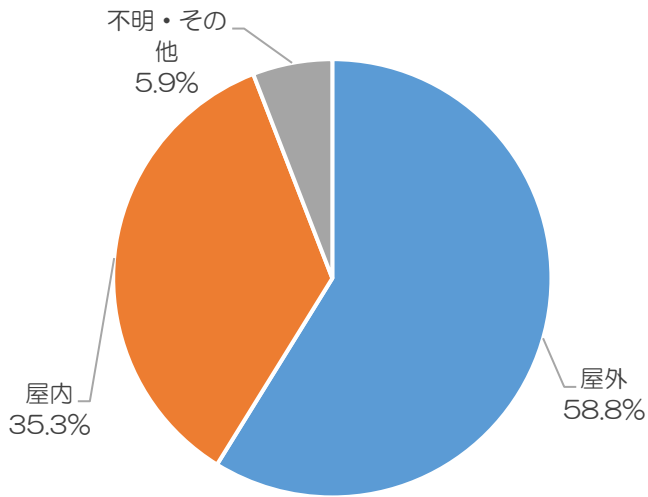


製造業	建設業	陸上貨物運送事業	商業	警備業	その他
12	10	7	7	3	9

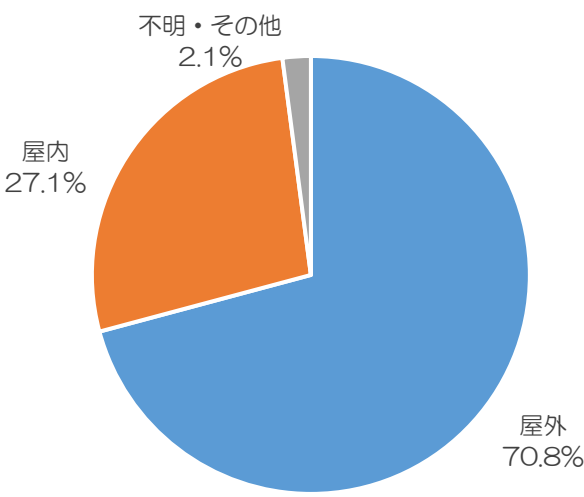
③ 月別内訳



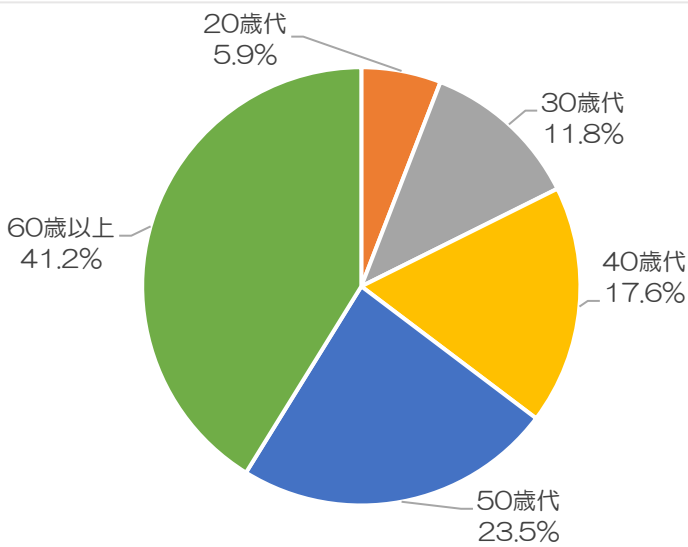
④ 発生場所別内訳 (令和6年)



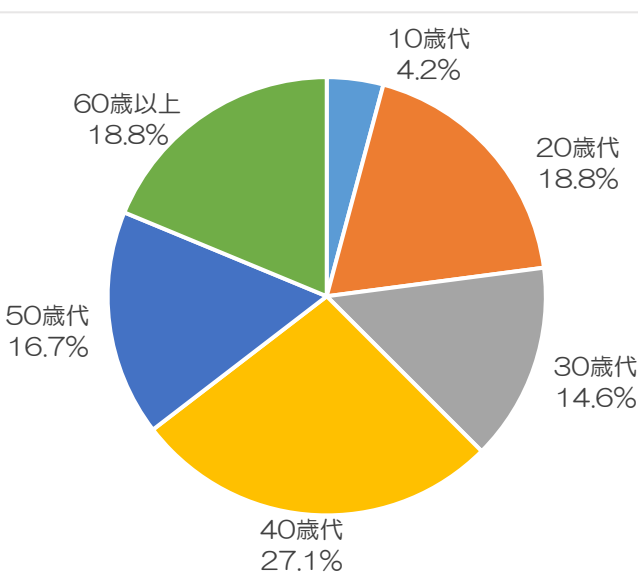
(令和7年)



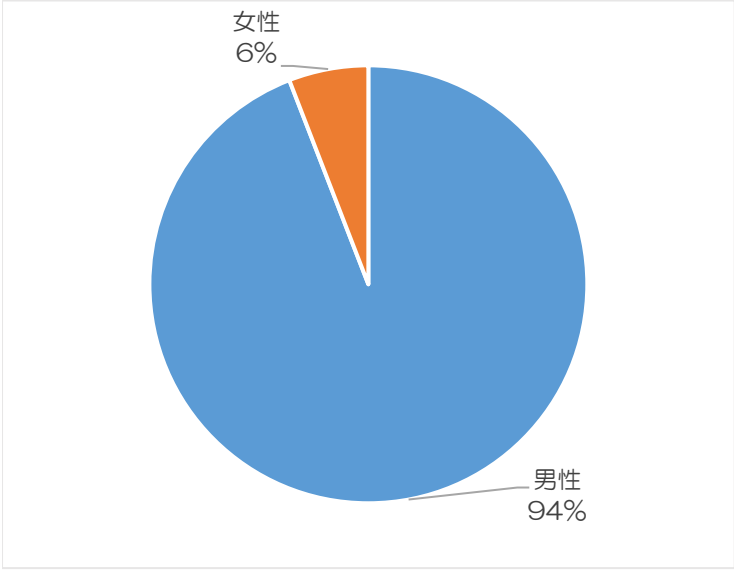
⑤ 年齢別内訳 (令和6年)



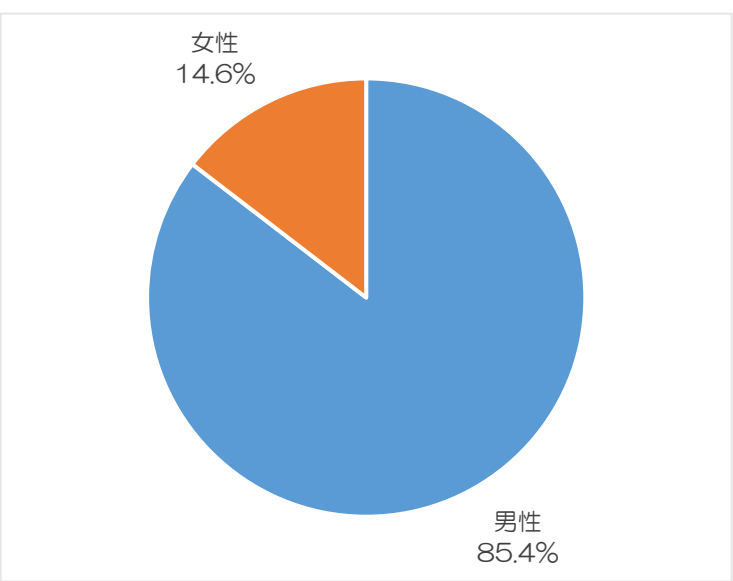
(令和7年)



⑥ 性別内訳（令和6年）



（令和7年）



⑦ 時間帯別

